

2025年に向けた対応方針について（相模原構想区域内医療機関更新提出状況）

2019.6時点

資料4

医療機関名	現状【病床種別】						現状（2018年）【病床機能】①					現状【指定・届出等】					2025年予定【病床機能】② 下段は現状との差（②-①）					2025年に向けた方針（抜粋）		機能変更あり（時）	過剰な病床機能への 転換	増床希望あり					
	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病床（病床）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟				介護医療院等	計	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
○民間病院																															
相模原中央病院	許可病床	160				160		160				○								102	58				160	・急性期を過ぎた患者、施設等からの入院が必要な患者の受入の増をにらみ、地域包括ケア病床の導入を検討 ・昨年度からの変更点 2019年度中の地ケア転換希望	・医師や医療スタッフの確保にて、医療提供体制の充実を図りたい。	●			
	稼働病床	160				160		160												-58	58								2019年度中		
相原病院	許可病床	60	66			126				126	126									90	36	0			126	・新築移転を検討（現病院の老朽化のため） ・急性期総合病院ではなく、地域医療を担える幅があり、多くの地域の方が安心して生活を送るための医療提供ができる病院を目指す。 ・昨年度からの変更点 2025年の病床機能変更、整形外科単科ではなく、多機能型病院を目指す	・整形外科を中心に地域医療に見合う診療機能の多機能（内科・外科・腎臓内科（透析）等）化を図る。	●	●		
	稼働病床	60	66			126				126	126									90	36	-126							2025年以降		
北里大学東病院	許可病床	303		110		413		46	102	155	303				○					-	-	-	-	-		・2020年4月を目処に北里大学病院へ移転・統合 ・昨年度からの変更点 時点修正（従事者数）		●			
	稼働病床	100		88		188		40	35		75				(46床)														2020.4		
○公的医療機関等（公的医療機関等2025プランより）																															
相模原赤十字病院	許可病床	132				132		132			132	○								92	40				132	・2019年7月、急性期病床の一部を回復期（地域包括ケア）病床へ転換済 ・地域住民への医療の提供と受け皿となること、急性期治療を経た患者が在宅復帰に向けた支援を行える病棟を併せ持つこと、訪問診療・訪問看護部門を強化し、在宅医療の推進を図ることが、今後の病院の役割と考える。		●			
	稼働病床	132				132					0									-40	40								2019.7		
日本赤十字社	稼働病床	132				132					0																				